

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月8日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス いんくるーじょん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	10人定員の基準を満たしています	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	人員配置は満たしており、専門的支援職員(言語聴覚士)も在籍しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	玄関上がり框はスロープにし、室内に段差はありません	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	定期的に職員会議を行い、pdcaサイクルに全職員が参画しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様からの評価表を活用して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	弊社ホームページ等で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価は行っておりません。弊社において評価結果を業務改善につなげていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員順番に外部研修へ出席しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	面談のうえ、アセスメント並びに利用者・保護者のニーズ・課題を分析し、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	活動プログラムの立案は職員全員が参画して行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	活動プログラムが固定化しないように、月間予定をたてて実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日・休日・長期休暇に応じて、月間予定、週間予定を立てて、様々な活動をおこなっております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	集団活動は全員に対して、個別活動は子どもの状況に合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	営業開始直後に、当日の支援の内容と役割分担を職員全員で共有周知しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援終了後に、職員間で当日の振り返りや気付き、改善方法等を話し合い、共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々、支援に関する記録をとり、振り返り、改善に繋げています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月に1回、モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ガイドの基本活動に沿って、複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	日々、学校と情報共有をおこなっており、学校送迎時には、先生からの引継ぎを行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	現在医療的ケアが必要なお子さまは受け入れておりません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%		全員は行えていません。可能な限り、情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%		全員は行えていません。可能な限り、情報共有に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	当事業所における外出イベント等において障がいのない子どもと活動する機会があります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	利用時の様子は、連絡帳及び送迎時に保護者に報告しています。課題については、定期モニタリングにて話し合っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		ペアレント・トレーニングは行っておりません。ペアレント・トレーニングは専門機関で行っていると認識していましたが、今後、放課後等デイサービスで行うペアレント・トレーニングについて学んでいきたいと思っております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	初回面談・契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	随時、保護者さまからの相談に応じて助言と支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		感染症防止の観点により、今年度も保護者会を行っておりません。今後様子を見ながら、再開したいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	対応窓口を設けていることを契約時に説明しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月1回会報を配布しております。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報同意書契約に基づき、個人情報に注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	言語・非言語等必要な伝達方法を配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	地域交流に力を入れています。ボランティア様には毎月1回訪問いただいております。また地域のイベントにも積極的に参加して	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	50%	50%		職員への周知は行っています。保護者様へも各マニュアルの周知を行って参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に3回以上行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部研修、内部研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	加害・自傷がある場合は、身体をやむを得ず拘束する可能性があるかもしれないので、契約時に加害・自傷の有無についてのアセスメントを行っている。	加害・自傷の可能性がある利用者には、その旨を事前に説明し、了解を得た上で、個別支援計画書に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通して行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットで共有・周知・改善を行っています。	